

西高での思い出



大野先生

私は、昭和四十七年四月から、六十一年の三月まで、実に十四年間、若い人たちにとっては、気の遠くなるほどの長さであろうが、私にとっては、濃縮した一瞬に思われるこの期間、一宮西高校にお世話になった。そして、現在、一宮西高校は、私にとって、沸々と湧き、汲めども尽きぬ想い出の泉だ。それらは、時と場所を選ばず、ぼんやりと外を眺めているときの、一寸のすきを突いて、通勤の満員電車の中でさえ、突然湧き出してくる。私も、西高を語るとき、ようやく、同窓生のみなさんと同じ立場に立てるのである。

私の眼前によく浮ぶ西高の構造物は、何といっても、正面玄関の附近と、体育館の北側のメタセコイアなのだが——メタセコイアは、私が朝夕眺めていた樹木で、その周りには、いつも季節が漂っていて、生きた化石といわれる生命力と、ナイーブなたたずまいで、いつの間にか私の大好きな樹になっていたのだが——圧倒的によく思い出すのは、小さな出来事を通しての、生徒や先生方の顔・顔・顔である。

西高は、本当に「人」に恵まれていたと思う。思い出される生徒諸君の顔・顔・顔は、それが廊下を背景にしていたり、修学旅行中の一コマであったりするのだが、どのひとりをとっても、みな素敵な

子たちだった。今は、どうしているのかなあ、と思ってしまうのは、私の、老人趣味なのだろうか。先生方にも恵まれていた。どのお方も懐かしい。職員会議のことや、学年会のこと、そこでの小さな論争のことなども思い出すが、結論は、いつも、いい方向に決まっていた。最後のところで、みんなが、とことん西高のことを思っている議論だったからだろう。

私は、よく朝礼で話す機会を与えられ、そのたびに、臆面もなく、それでも一生懸命に、いろいろなことを話させてもらったのだが、そのひとつに、「思い出の先取り」というのがあった。それは、今の自分を、数年後の自分が、どう振り返り、どう思い出さるだろうか、ということ、今、考えながら、西高での毎日を通して、う、ということであったのだが、これを口にした当の私が、その頃のことを思い

出しているということは、赤面の至り以外の何物でもない。この赤面は、教師の宿命なのか、それとも、人生の宿命なのか。それでも、この赤面も、西高という大きな存在の中に包まれると、少しはやわらいで、ほっと救われる。

私は、現在、名古屋市内の県立高校でお世話になっているが、ここでも、一宮西高校の評価は、極めて高い。最も消極的な誉め方をする人でも、あそこは、生徒がいいからね、といってくれるし、もつとよく知っている人たちは、「西高精神」を称賛してくれる。私も、同窓生(客員)のひとりとして、とてもうれしい。同窓生のみなさんと同じく、私も、今後いよいよ西高が発展することを、祈ってやまないからだ。併せて、同窓会活動も年輪とともに、すくすくと育って、大樹と

常任幹事の皆さん

Table with 4 columns: 卒業回 (Graduation Year), 氏名 (Name), 現住所 (Current Address), 電話 (Phone Number). Lists 20 members of the executive committee.

昨年度総会



昨年度の同窓会総会は、会場を一昨年度の母校体育館から一宮スポーツ文化センターに移し、八月十八日午後一時より開催されました。参加会員は六十名余り、旧職員として宇佐見忠雄先生が、また母校職員として校長先生、教頭先生を含む九名の先生方が出席されました。会は、山内進同窓会長ならびに柘植敬一郎校長先生のあいさつにはじまり、つづいて昭和五十九年度事業報告・会計報告、昭和六十年事業計画案・予算案の審議に移り、いずれも満場一致で承認されました。事務局から西高の近況について報告があった後、この日の総会にあわせて製作された「一宮西高同窓会総会」の立て看板をバックに「同窓会総会」の立食パーティーへと移りました。

昨年度の総会への会員の出席状況は、残念ながらあまり芳しいとは言いがたく、全体的に会に盛り上がりは欠いたことは否めません。数日後の中日新聞尾張版に



おいて、「出席六十人とは寂しいな」という見出しで、本総会の模様が「いくぶん危機感の漂うパーティー」として紹介されたことを記憶されている方も多いいと思います。にもかかわらず、懇親会では各テーブルで談笑の花が咲き、最後は、参加者一人一人が来年の参加者をもっとふやすことを決意しつつ、西高の校歌を高らかに歌って会を閉じました。本年度の総会には一人でも多くの会員が参加して、若い西高同窓会をみんなまで盛り上げていこうではありませんか。

昭和60年度 一宮西高同窓会総会

「定時制最後の年を迎えて」



教頭 南部 博

定時制は本年度末をもって、二十二年にわたる歴史の幕を閉じることになります。...

振り返れば、昼間二交代制定時制(家政科二クラス)が併置されたのは、一宮高校西分校の創設二年目の昭和四〇年四月のことでした。...

より労働力の省力化が促進されたこと、繊維産業の製品の供給過剰、開発途上国の追い上げ、流通過程の複雑化等による繊維産業自体の体質改善が進行したことが挙げられます。...

今年一月五日、一宮市内の「江美」にて第六回卒業生の学年同窓会が開催されました。...

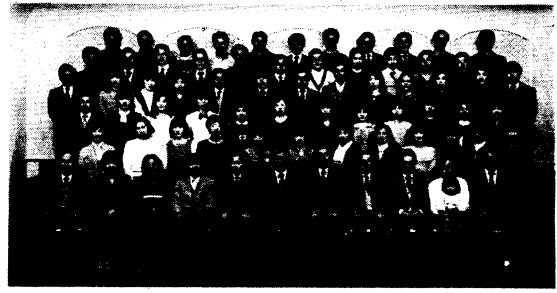
第六回生同窓会

今年一月五日、一宮市内の「江美」にて第六回卒業生の学年同窓会が開催されました。...

Table with 4 columns: 卒業生の多い事業所と県名及び本校と関係した年数, 会社名, 卒業生数, 関係年数. Lists various companies like 日本毛織一宮工場, 敬島紡織江南工場, etc.

Table with 4 columns: 22年にわたる卒業生数と関係した事業所数及び出身県数, 入学年度, 入学者数, 卒業生数, 関係事業所数, 関係出身県数. Shows trends from 1940 to 1960.

方の若さには驚嘆、思わずわれわれはまだ生徒であるかのような錯覚にとらわれてしまいます。...



愛知県立一宮西高等学校 第6回卒業生同窓会 昭和61年1月5日 於 江美

グラウンド整備

長年の懸案でありましたグラウンドの整備が、昨年度末行われました。これを機会に運動面における一層の活躍が期待されます。



同窓会総会出席予定

- List of names of alumni attending the general meeting, including 旧職員 (Former Staff) and 現職員 (Current Staff).

同窓生5行通信の募集

今回、同窓生の皆さんの近況を5行程度(約80字程度)で募集することになりました。...

あて先 〒491-03 一宮市萩原町串作字河田1番地 一宮西高校 同窓会事務局

卒業生の進路状況

〈全日制〉 大学の項の数字は合格者数 ()は浪人

	S61年度	S60年度	S59年度	S58年度
国立大学	209 (63)	135 (51)	147 (50)	128 (33)
公立大学	33 (5)	33 (7)	30 (8)	40 (9)
私立大学	485 (214)	367 (188)	330 (144)	335 (117)
公立短大	98 (6)	54	60 (4)	76 (4)
私立短大	104	68	85 (2)	85
各種専門学校	30	18	11	34 (3)
就職	9	7	7	15

〈定時制〉

	S61年度	S60年度	S59年度	S58年度
入学時の生徒数	58	70	106	110
卒業者数	42	37	62	65
4年制大学	0	0	1	0
短期大学	1	3	6	2
就職	17	25	41	18
就職進学者	4	12	15	1
専修学校等	8	12	14	4
家事従事者	0	0	0	18
その他	20	9	15	24

校長 柘植敬一郎(愛知学泉大学)
 国語 神山 雅朗(西春高校)
 社会 田中 博(新川高校)
 数学 大野 達郎(瑞陵高校教頭)
 理科 塚本 三郎(新川高校)
 英語 齊藤 謙一(刈谷北高校)
 音楽 鷲津 文子(一宮南高校)
 保健体育 伊藤 智子(祖父江高校)
 養護 大鹿高雄(津島高校)
 英語 宮田 方史(名古屋南高校)
 事務局長 馬場 保行(犬山高校)
 主事 五十嵐 栄(東海商業高校)

校長 鶴田 功(犬山南高校)
 国語 光田 吉夫(平和高校)
 社会 工藤正太郎(小牧高校)
 数学 入砂七五三(一宮北高校)
 理科 栗木 秀己(名古屋大学卒)
 英語 浅野 誠幸(佐織工業高校)
 音楽 上條 裕司(平和高校)
 保健体育 坂倉 富行(五条高校)
 養護 木村 齊(祖父江高校)
 事務局長 山田 敏男(一宮養護学校)
 主事 小松 一枝(東新県税事務所)

職員の異動

数学 宮崎 豊 (定時制)

部活動紹介

【運動部】

	男子				女子				合計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
体操	3	4	3	10	12	4	7	23	33
卓球	22	9	3	34	7	6	15	28	62
テニス	17	20	17	54	22	12	14	48	102
水泳	7	7	6	20	3	1	7	11	31
バスケット	23	14	8	45	16	10	8	34	79
バレーボール	10	11	9	30	8	18	16	42	72
陸上	2	14	13	29	7	6	1	14	43
ハンドボール	7	8	10	25	7	9	5	21	46
弓道	10	16	8	34	8	14	7	29	63
バドミントン	12	9	10	31	7	15	8	30	61
剣道	6	8	5	19	4	7	7	18	37
山岳	1	8	2	11	5	3	1	9	20
ソフトボール	0	0	0	0	10	9	13	32	32
野球	15	10	9	34	1	1	1	3	37
ラグビー	28	15	16	59	3	3	2	8	67
柔道	6	5	6	17	0	0	0	0	17
サッカー	24	15	18	57	0	2	2	4	61

【文化部】

	男子				女子				合計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
生物									
美術									
写真	2	0	9	11	0	0	0	0	11
演劇	4	0	0	4	0	11	3	14	18
現代科	8	15	2	25	0	3	3	6	31
茶華道	0	0	0	0	3	8	3	14	14
音楽	3	4	0	7	2	4	4	10	17
手芸調理	0	0	0	0	0	1	9	10	10
天文	9	10	0	19	0	5	5	10	29
ブラスバンド	10	2	8	20	10	2	0	12	32
放送	8	5	4	17	2	4	0	6	23
新聞	2	1	2	5	0	0	0	0	5
筆曲	0	0	0	0	0	5	9	14	14

部活動大会成績

本年度の七月十日現在の大会成績及び合宿日程です。昨年度の成績に比べ、かなりの良績をおさめることができました。微力ながらも精一杯頑張っていますので御指導の程よろしくお願ひします。

【高校総体大会成績】
 ラグビー 優勝
 バレーボール 優勝
 ハンドボール 二位
 体操 三位
 テニス 三位
 (以上県大会出場)
 体操 四位
 剣道 四位
 バスケット 二位八
 ベスト八

合宿日程

期	日時	男	女
1	7/10 ~ 7/12	●ハンドボール ●バドミントン ●テニス	●ハンドボール ●バドミントン ●ソフト ●卓球
2	7/13 ~ 7/15	●柔道 ●バレーボール ●陸上 ●剣道	●バレーボール ●陸上 ●剣道 ●テニス
3	7/16 ~ 7/18	●サッカー ●体操 ●水泳 ●弓道 ●卓球	●体操 ●水泳 ●弓道
4	7/19 ~ 7/21	●野球 ●バスケット	●バスケット

会報も3回目となり、誌面も次第に定着してきました。今年度は校長先生をはじめ、多くの先生方が異動になりました。また、定時制が最後の年を迎えています。このように西校の歴史も変化している中で、同窓会の足跡をしっかりと刻んでいかねばなりません。筆者も今度の転勤で母校にお世話になることとなり、教員になったことと併せて、全く思いがけない出来事です。これを機会に同窓会の発展に寄与できたらと思いつつ、筆をとっています。

(文責・八回生 光田 吉夫)

編集後記